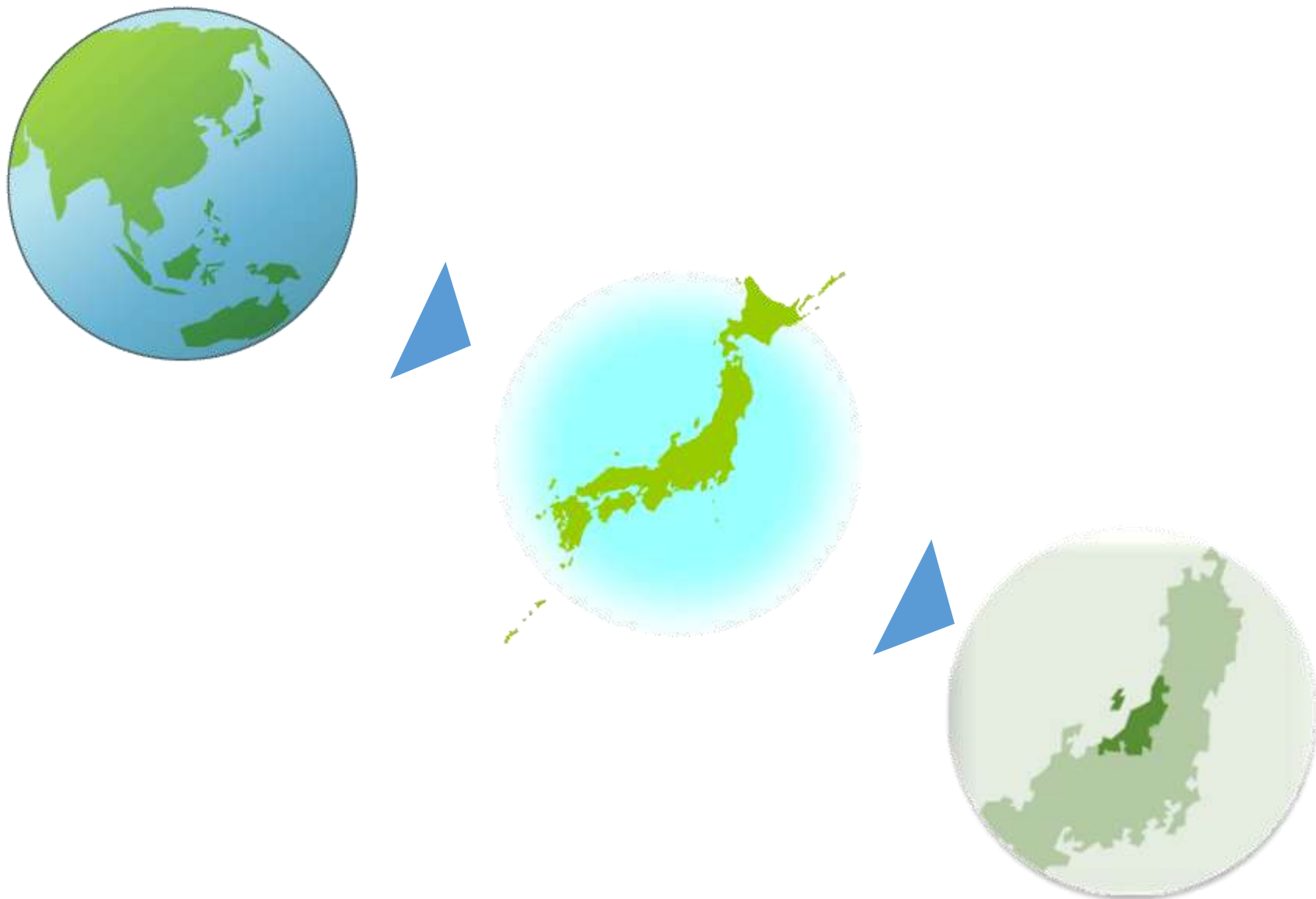


新潟県の状況を見てみると…



2 (1) 新潟県の平均気温



これまでの推移

(1882*~2024)

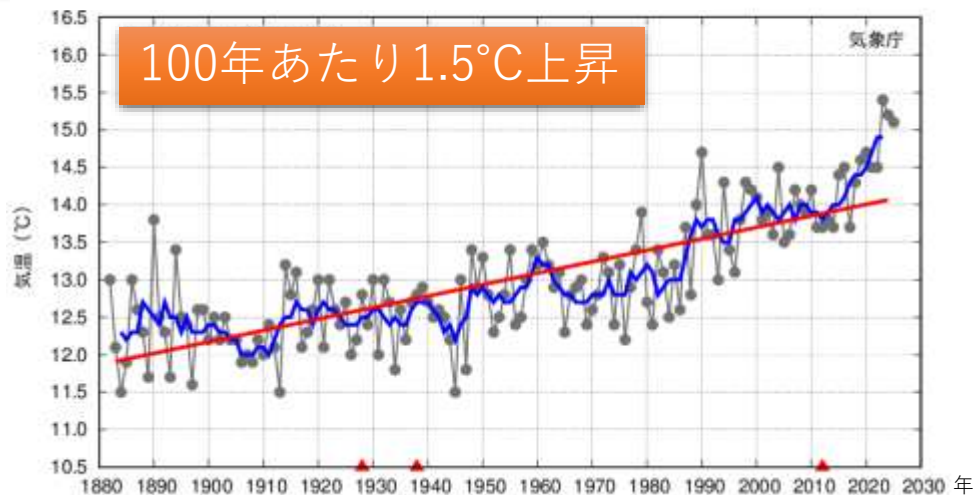


図 新潟市の年平均気温の経年変化 (1882~2025)

季節	長期変化傾向
春 3~5月	+2.0°C/100年
夏 6~8月	+1.4°C/100年
秋 9~11月	+1.2°C/100年
冬 12~2月	+1.3°C/100年

太線(青):偏差の5年移動平均
直線(赤):長期的な変化傾向
赤三角:観測場所の移転

*:秋のみ1881~

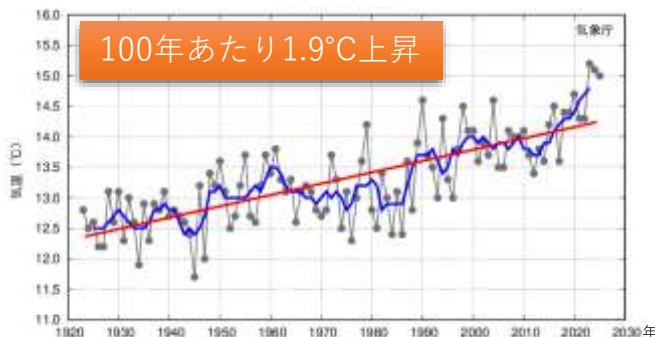


図 上越市 (1923~2025)

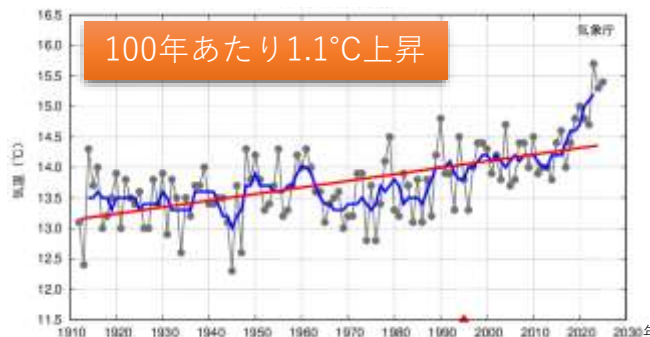


図 佐渡市 (1912~2025)

✓ 全国、北陸地方
ともに上昇傾向

出典) (各グラフ) 新潟地方气象台提供

(表データ) 東京管区气象台:北陸地方のこれまでの気候の変化(観測結果) (https://www.data.jma.go.jp/tokyo/shosai/chiiki/tokyok_fix/hokuriku/observation.html)

よりそれぞれ加工して作成

2 (2) 新潟県の猛暑日、冬日等



これまでの推移

新潟市・佐渡市では、観測場所が移転されたため、長期傾向（トレンド）は算出されていない

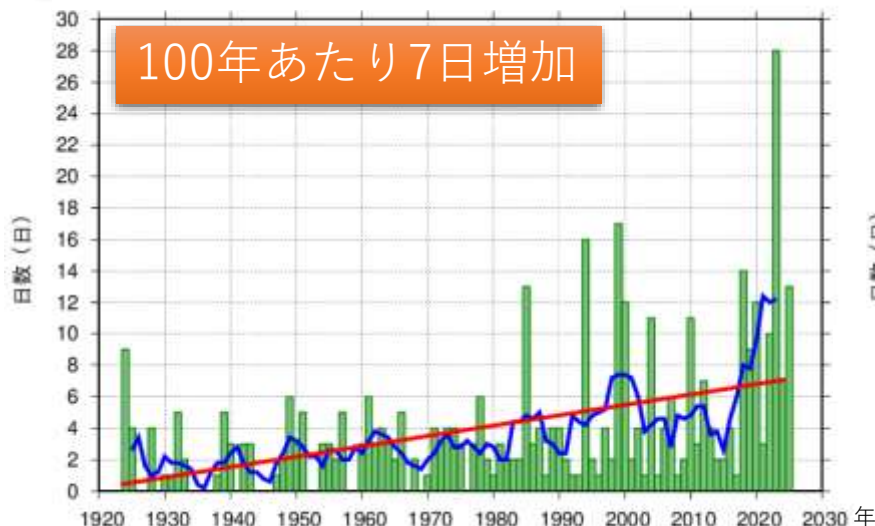


図 上越市の年間猛暑日日数の経年変化 (1923~2025)

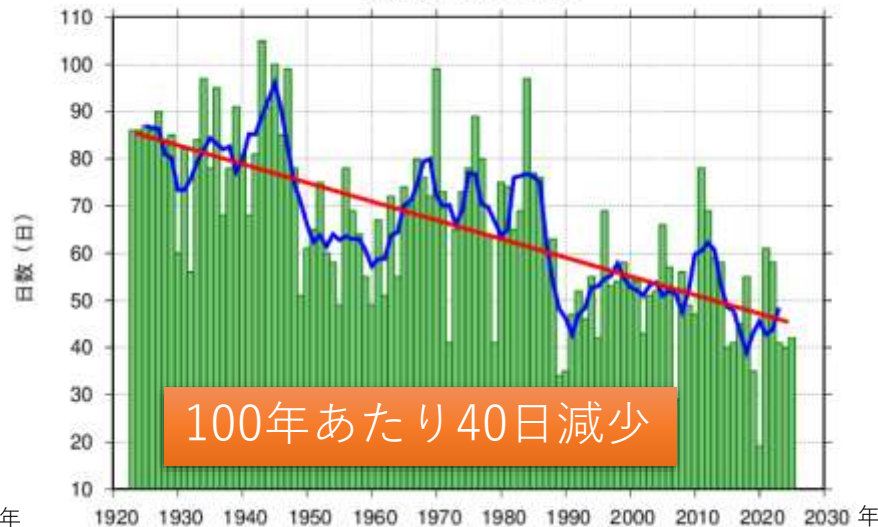


図 上越市の年間冬日日数の経年変化 (1923~2025)



猛暑日：日最高気温 $\geq 35^{\circ}\text{C}$
 真夏日：日最高気温 $\geq 30^{\circ}\text{C}$
 夏日：日最高気温 $\geq 25^{\circ}\text{C}$
 熱帯夜：夜間最低気温 $\geq 25^{\circ}\text{C}$
 冬日：日最低気温 $< 0^{\circ}\text{C}$

図 全国13地点の猛暑日 (1910~2024)



図 全国13地点の冬日 (1910~2024)

出典) 新潟地方気象台提供

気象庁ウェブサイト：大雨や猛暑日など（極端現象）のこれまでの変化 (https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/extreme/extreme_p.html) よりそれぞれ加工して作成

Reference data on CCA in Niigata Prefecture (2025)

2 (3) 新潟県の雨① 降水量



これまでの推移

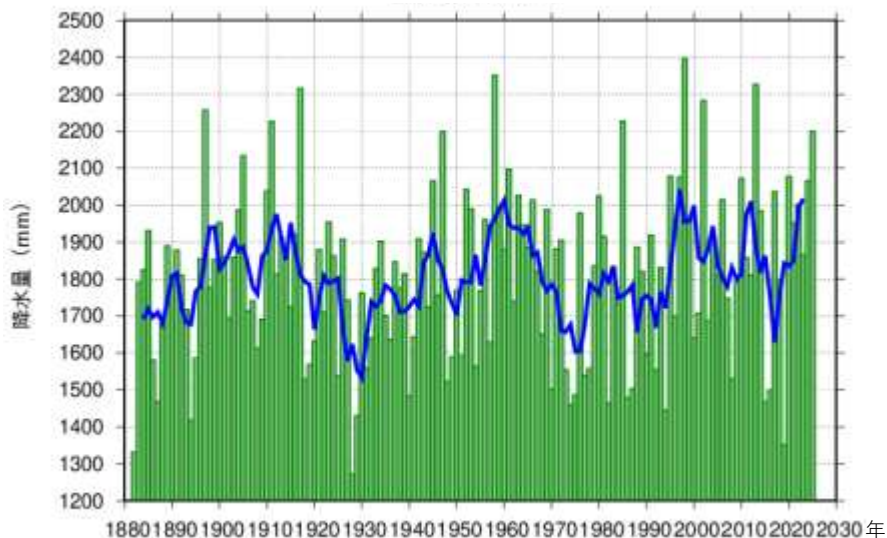


図 新潟市の年降水量の経年変化 (1882~2025)

※ 同じ北陸地方の富山、金沢、福井でも、統計的に有意な変化傾向は確認されていない

上越市では… 年降水量：変化傾向は確認されず
佐渡市では… 年降水量：変化傾向は確認されず

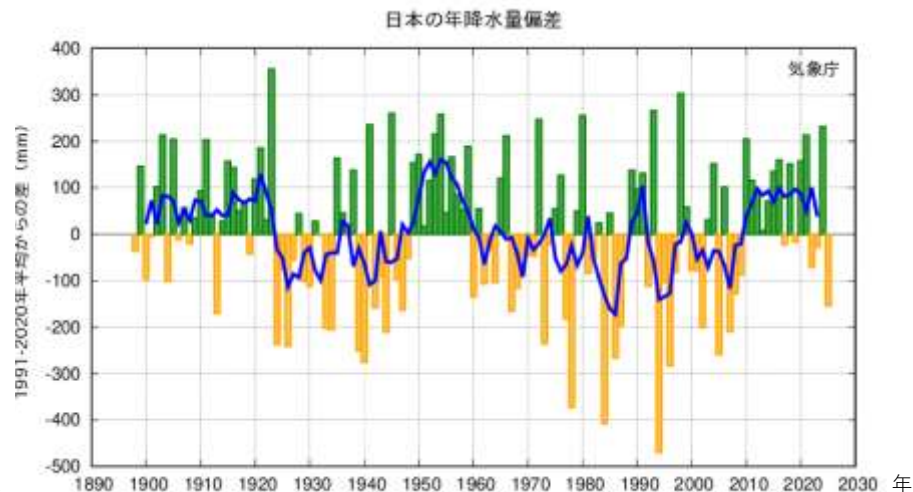


図 日本の年降水量偏差 (1898~2025)

(データの均質性が長期間継続している 51 観測地点)
棒グラフ：各年の降水量の基準値からの偏差
折れ線(青)：偏差の5年移動平均値
基準値は1991~2020年の30年平均値

👉 いずれも長期変化傾向は見られず

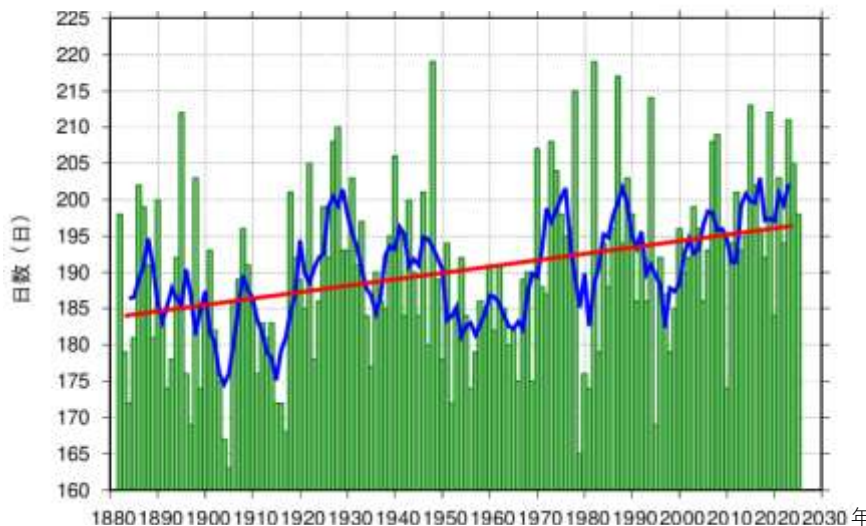
出典) 新潟地方气象台提供

気象庁ウェブサイト：日本の年降水量 (https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/temp/an_jpn_r.html)
よりそれぞれ加工して作成

2 (3) 新潟県の雨② 無降水日数



これまでの推移

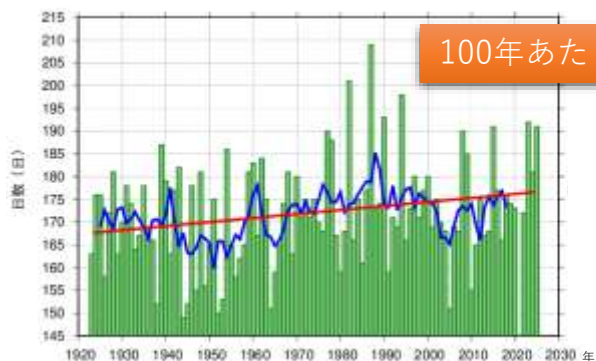


無降水日：日降水量1mm未満

100年あたり8.8日増加

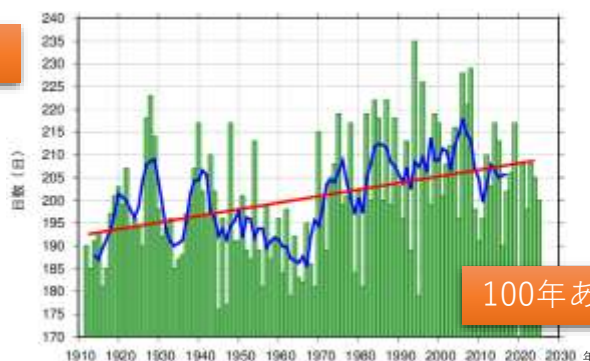
✓ 全国的にも増加傾向
(100年あたり9.2日増加)

図 新潟市の年間無降水日数の経年変化 (1882~2025)



100年あたり8.8日増加

図 上越市 (1923~2025)

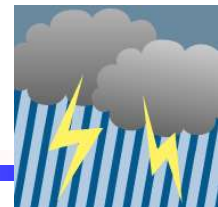


100年あたり14.5日増加

図 佐渡市 (1912~2025)

出典) 新潟地方気象台提供 より加工して作成

2 (3) 新潟県の雨③ 短時間強雨



これまでの推移 (1979~2024)

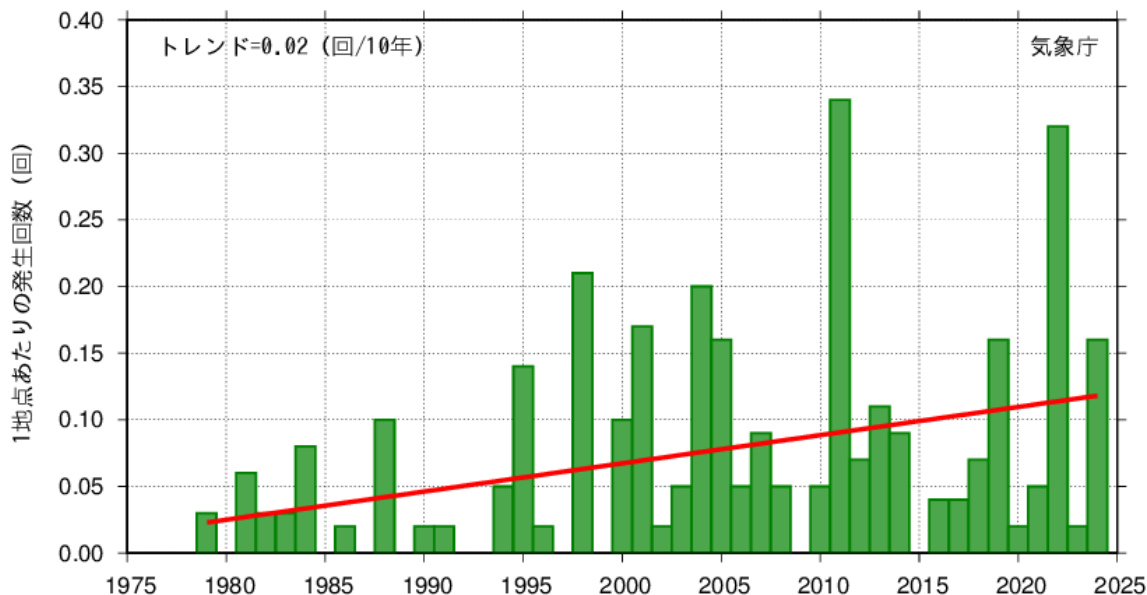


図 新潟県内1地点あたりの1時間降水量50mm以上の年間発生回数の経年変化 (1979~2024)

1時間降水量(mm)

30以上~50未満	…激しい雨 (バケツをひっくり返したように降る)
50以上~80未満	…非常に激しい雨 (滝のように降る)
80以上	…猛烈な雨 (息苦しくなるような圧迫感。恐怖を感じる)

出典) (左図) 東京管区气象台ウェブサイト：北陸地方のこれまでの気候の変化 (観測結果)
 (降水量の説明) 気象庁ウェブサイト：全国の1時間降水量50mm以上の年間発生回数
 (右図) 気象庁ウェブサイト：全国の1時間降水量50mm以上の年間発生回数 よりそれぞれ加工して作成

増加しているとみられる
(10年あたり0.02回)

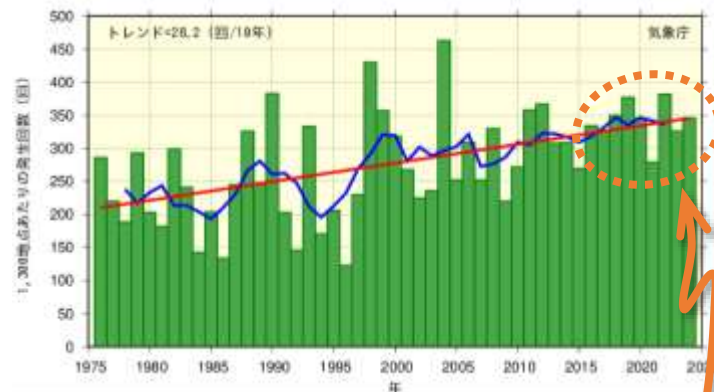


図 全国(1,300地点あたり)の発生回数の経年変化 (1976~2024)

最近10年間の年平均発生回数は
1976-85年の約1.5倍

2(4) 全国の台風の発生状況等



これまでの推移 (1951~2024)

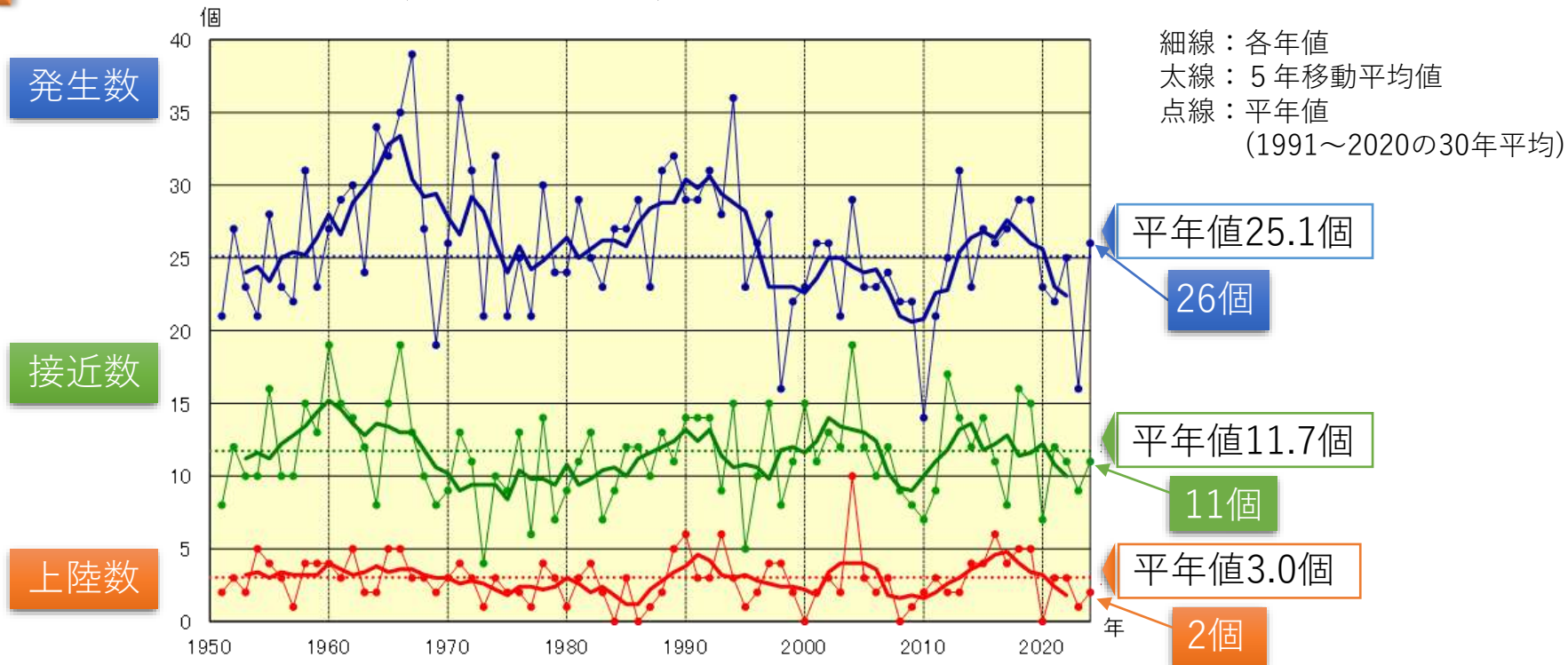


図 台風の発生数、日本への接近数・上陸数の経年変化

発生数に長期的傾向は認められない

出典) 気象庁：気候変動監視レポートより加工して作成

IPCC第6次評価報告書では以下の報告がある

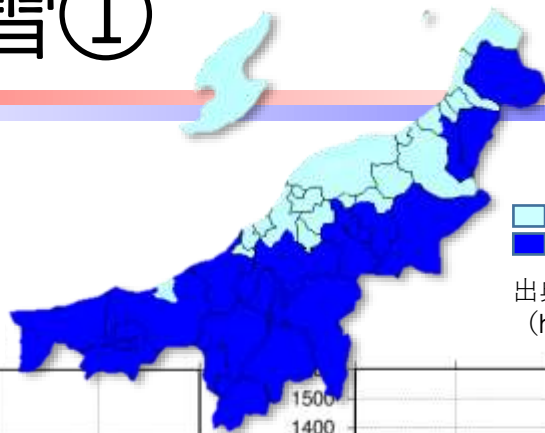
- ・ 1980年代以降、「猛烈な台風」相当の台風が増加
- ・ 北西太平洋域の熱帯低気圧がその強度のピークに達する緯度が北に遷移している可能性が高い

→ 気象庁では、引き続き、長期変化傾向を監視していくことが必要としている

2 (5) 新潟県の雪①

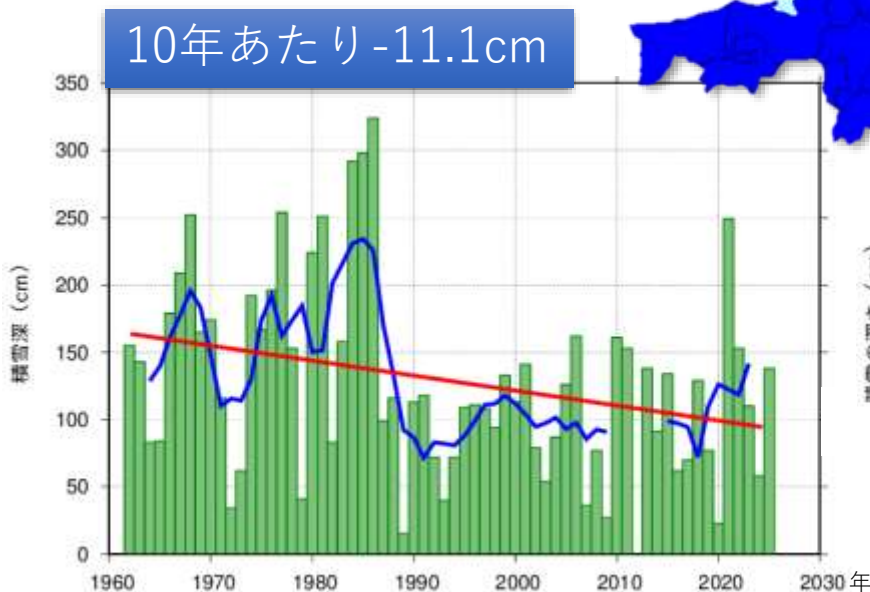


これまでの推移

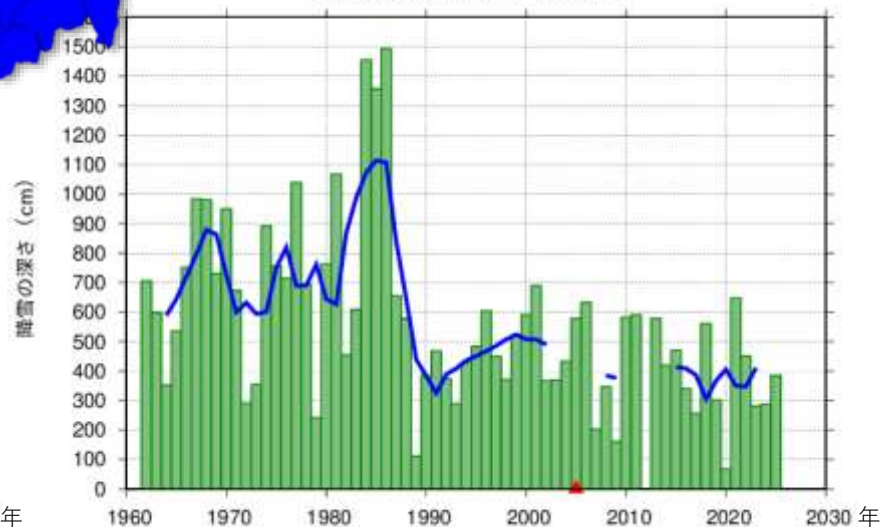


豪雪地帯
特別豪雪地帯

出典) 全国積雪寒冷地域振興協会ウェブサイト：
(<http://www.sekkankyo.org/niigata.htm>) より加工して作成



(a) 寒候年最深積雪 (1962~2025)



(b) 寒候年降雪量 (1962~2025)

図 上越市の寒候年降雪量等の経年変化

佐渡市では… 10年あたり-1.7cm
新潟市では… 変化傾向確認されず

佐渡市では… 変化傾向確認されず
新潟市では… 変化傾向確認されず

出典) 新潟地方気象台提供 より加工して作成

2 (5) 新潟県の雪②



これまでの推移 (1965~2018)

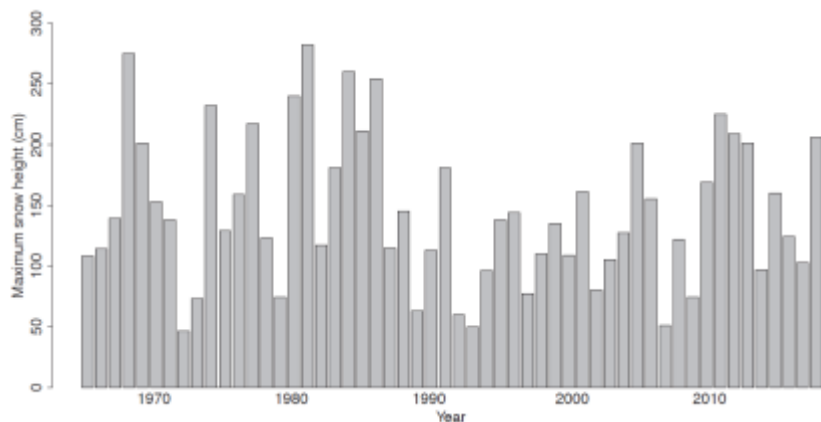


図 最大積雪深の推移 (長岡市)



図 気象・積雪観測露場
(長岡市：雪氷防災研究センター)

出典) Yamaguchi *et al.* : Proceedings, ISSW in Austria (2018) より加工して作成

表 日降雪深トップテン (長岡市)

順位	24時間降雪深/cm	観測日
1	111.0	1986年 1月 9日
2	87.0	1984年12月28日
3	86.0	1973年12月23日
4	83.2	2016年 1月24日
5	80.5	2018年 2月 5日
6	80.0	2005年 1月11日
6	80.0	2010年 1月13日
8	76.0	1986年 1月25日
9	75.0	1984年12月25日
10	73.0	2005年 1月31日

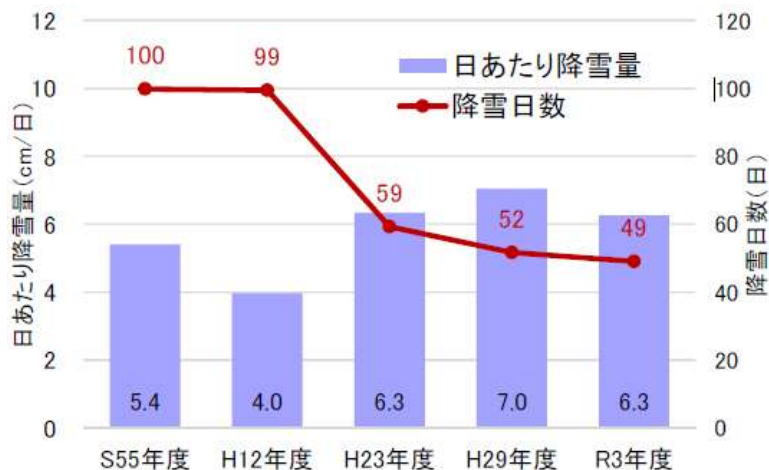
10のうち5つが21世紀に記録

出典) 防災科学技術研究所雪氷防災研究センター 提供

2 (5) 新潟県の雪③



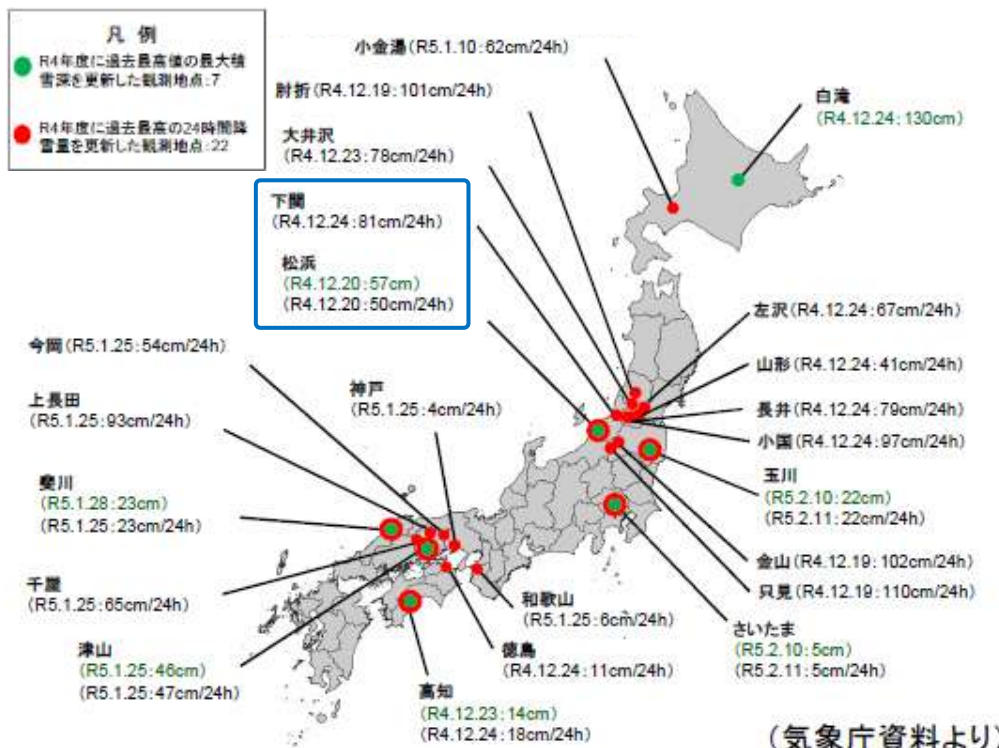
これまでの降雪状況



以下の気象観測所の「降雪量の日合計」を使用
 北海道（稚内・網走・札幌・倶知安・釧路・函館）
 青森県（青森）秋田県（秋田）岩手県（盛岡）山形県（山形・新庄）
 宮城県（仙台）福島県（若松）新潟県（新潟・高田）富山県（富山）
 石川県（金沢）福井県（福井）長野県（長野）岐阜県（高山）
 鳥取県（鳥取）島根県（松江）

図 日あたり降雪量と降雪日数の推移

降雪日数が少なく、
1日に多く降る傾向



(気象庁資料より)

図 過去最高値の積雪・降雪地点（令和4年度）

令和4年度は、特に12月、1月に短期間の集中的な降雪が各地で発生し、観測史上1位の24時間降雪量や最大積雪深を記録

出典) 国土交通省：第7回 冬期道路交通確保対策検討委員会資料「近年の降雪状況について」より加工して作成

出典) 国土交通省：第1回積雪寒冷地域における道路舗装の損傷に関する有識者会議資料「近年の気象状況と舗装損傷の発生状況について」より加工して作成

2 (6) 日本近海の海面水温



これまでの推移 (1908~2025)

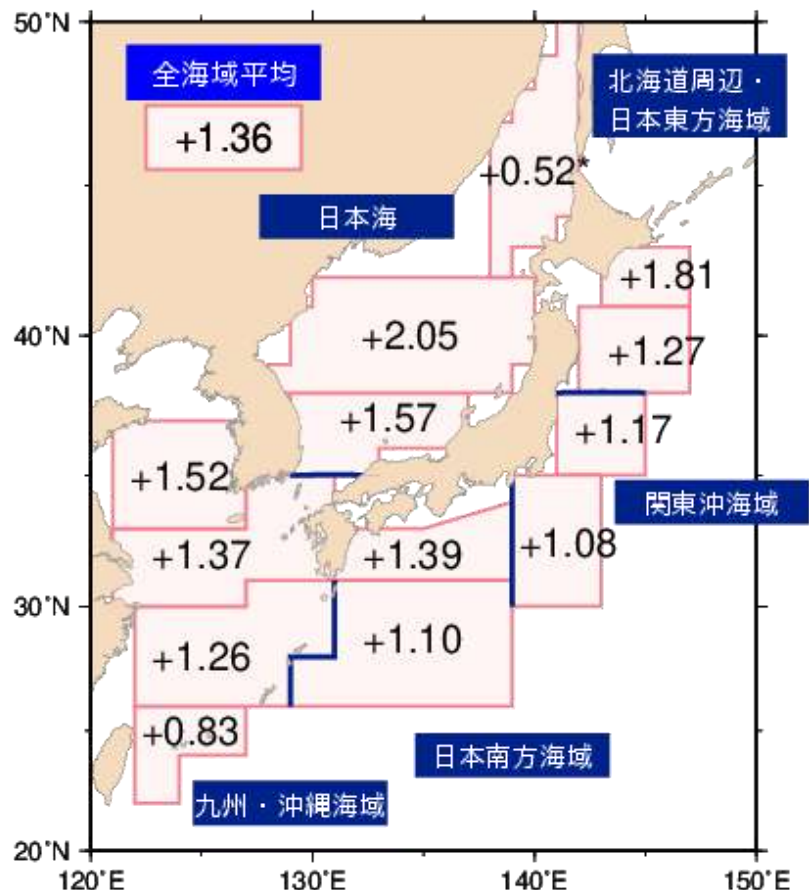


図 日本近海の海域平均海面水温 (年平均) の長期変化傾向



海域区分

地球温暖化の影響がどの程度現れているのかは明らかでない

100年あたり1.36°C上昇

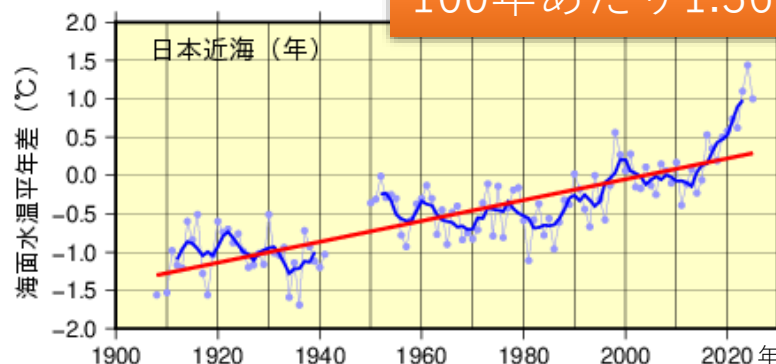


図 日本海中部海域の平均海面水温 年差の経年変化 (1908~2025)

出典) 気象庁ウェブサイト：海面水温の長期変化傾向 (令和8年3月5日)

2 (7) 日本近海の海面水位



これまでの推移 (1960~2025)

世界の海面水位上昇の主因；

- ・地球温暖化による海水の熱膨張
- ・氷河・氷床の融解に伴う海水の増加

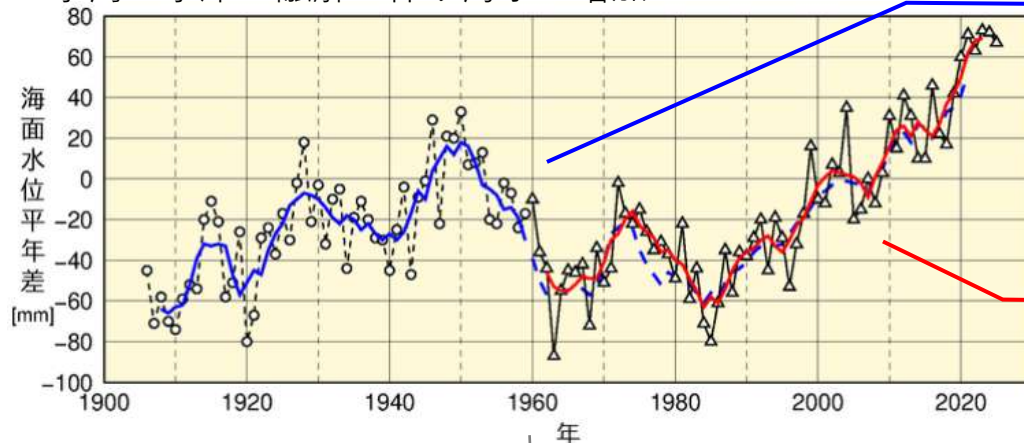
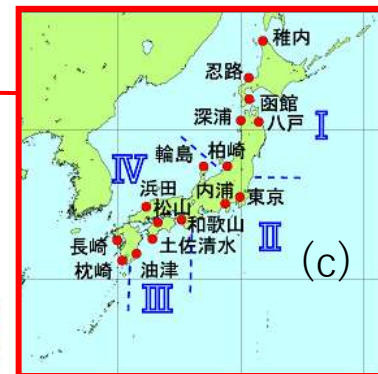
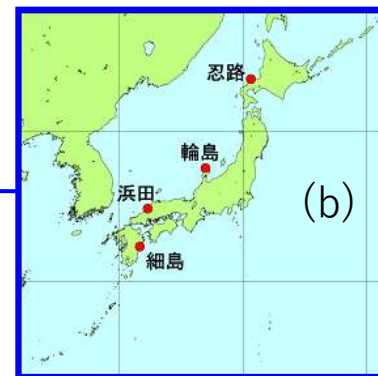


図 日本沿岸の海面水位の経年変化(1906~2025年)



日本沿岸の平均海面水位は、1980年代以降は上昇傾向が現れている

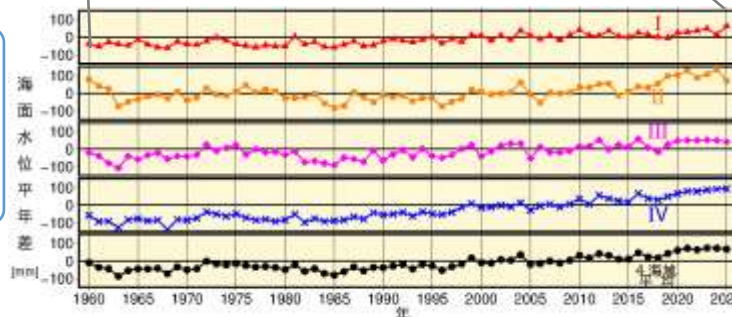


図 海域別の海面水位平年差の経年変化(1960~2025年)

出典) 気象庁ウェブサイト：日本沿岸の海面水位の長期変化傾向 2026年2月16日

日本周辺の1960年以降の海域ごとの海面水位変化 より加工して作成